

平成30年度調査研究発表会

未来の創りに求められる資質・能力を  
育成する授業に関する研究  
- 主体的・対話的で深い学びの実現を通して -



平成31年1月25日(金)

鹿児島県総合教育センター 教科教育研修課

すぐその未来



画像出典：政府広報オンライン (https://www.gov-online.go.jp/cam/s5/)

ソサエティ5.0 「すぐその未来」篇<字幕版> (90秒)



ソサエティ5.0 - 政府広報オンライン https://www.gov-online.go.jp/cam/s5/

「未来の創り手」とは



複雑で予測困難な時代の中で、  
社会の変化に**主体的**に向き合って関わり合い、  
自らの可能性を発揮し、  
多様な他者と**協働**しながら、  
よりよい社会と幸福な人生を切り拓き、  
未来を**創る**ことのできる人間

「小学校学習指導要領解説 総則編(平成29年)」を基に定義

すぐその未来

- 個別最適化された学び
- きめ細やかな支援や指導
- 教育の質の向上と負担軽減



全く新しい授業?

新学習指導要領

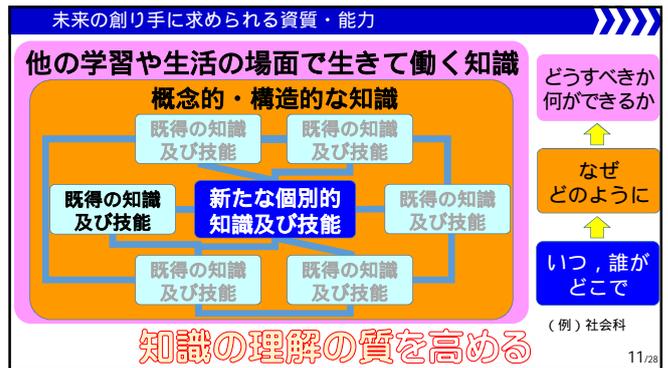
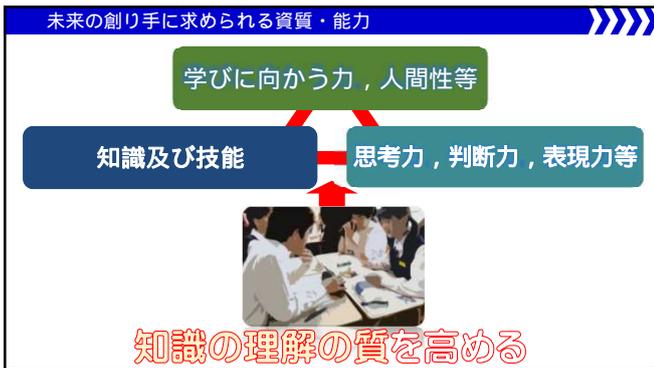
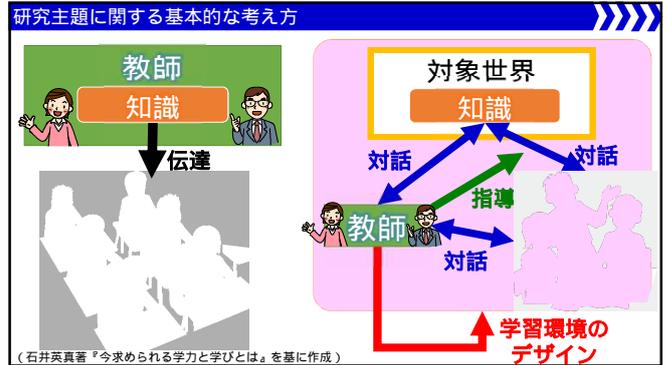
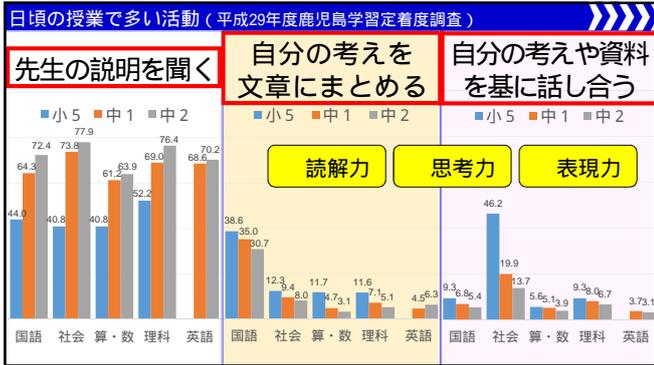
学びの基盤  
将来の姿を実現する学び

これまでの優れた  
教育実践を大切に。



鹿児島市立山下小学校  
第5学年国語科  
永田洋一教諭





- 本発表のポイント
- 知識の理解の質を高めるために
- 学習内容の質
- 知識を文脈や状況とともに扱う。
  - 知識を相互に関連付ける。
- 学習方法の質
- 「主体的・対話的で深い学び」を実現する。

学習内容を扱う視点（文脈や状況を伴う知識）

「工程」という言葉は、聞いていただけでは意味がすぐに分からなかったから、別の言葉に直した方がいいと思うよ。

工程 ← 手順を

私は将来パン職人になるために、パン作りの工程やおいしくいきたいと思います。そのため

平成31年度全国学力・学習状況調査サンプル問題（小学校第6学年・国語）

学習内容を扱う視点（文脈や状況を伴う知識）

多様な文脈・具体的な言語活動

平成31年度全国学力・学習状況調査サンプル問題（小学校第6学年・国語）

本発表のポイント

知識の理解の質を高めるために

- 学習内容の質
  - 知識を文脈や状況とともに扱う。
  - 知識を相互に関連付ける。
- 学習方法の質
  - 「主体的・対話的で深い学び」を実現する。

学習内容を扱う視点（知識の関連付け）

知識の関連付けのイメージ

見方・考え方

【見方】対象のどこに着目するか。  
【考え方】対象についてどのように考えるか。

学習内容を扱う視点（知識の関連付け）

知識の関連付けの例（第6学年理科）

燃焼の仕組み      人の体のつくりと働き

粒子領域      質的な「見方」      生命領域

物が燃えると、酸素の割合が減って、二酸化炭素の割合が増える。

呼吸によって、酸素の割合が減り、二酸化炭素の割合が増える。

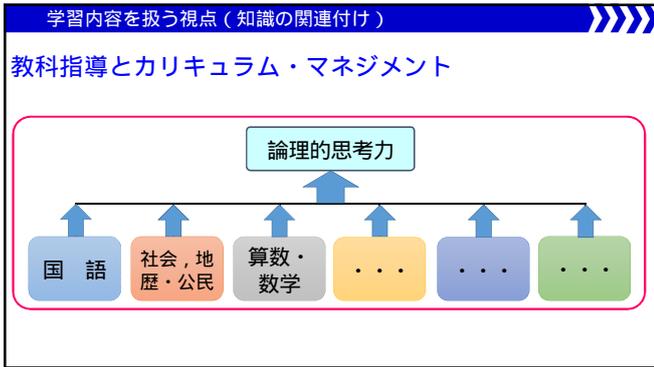
物が燃えるときと人が呼吸するときは、同じような空気の変化が起こるんだな。      比較

学習内容を扱う視点（知識の関連付け）

教科等を越えた関連付け

各教科等における学びを確実に。行う。

鹿児島県はボランティア活動をする人が多いので、ボランティアをする人です。この割合を表現したものが、平成十三年の鹿児島県と全国の割合の差は、およそ10セントもありません。



本発表のポイント

知識の理解の質を高めるために

学習内容の質

- 知識を文脈や状況とともに扱う。
- 知識を相互に関連付ける。 **「見方・考え方」**

学習方法の質

- 「主体的・対話的で深い学び」を実現する。

学習方法の在り方

主体的な学び 自分自身の学びや変容を自覚する。  
見通し, 振り返り  
社会との結び付き

対話的な学び 考えなどを広げ深める。  
様々な対象との対話 **「見方・考え方」**  
× 形式的な活動

深い学び 知識の理解の質が高まる。

学習方法の在り方

知識を相互に関連付けてより深く理解する。  
情報を精査して考えを形成する。  
問題を見いだして解決策を考える。  
思いや考えを基に創造する。

**「見方・考え方」**

発言, 記述, 演技, 作品等

単元等のねらい

知識の理解の質が高まっている

学習方法の在り方

意識してみよう

(例)	働き掛けの視点
第1次	学習課題 見通し
第2次 ↳ 最終次	習得・活用 対話的な活動 問題解決
最終次	振り返り

その働き掛けで...  
知識の理解の質は  
高まるかな?

その働き掛けは...  
「見方・考え方」  
を働かせる学びに  
つながるかな?

学習方法の在り方

水流昌一教諭（薩摩川内市立川内北中学校，第1学年理科）の実践から

○ 学習課題の設定の工夫

○ 生徒自身による実験の企画

○ 科学的な根拠を基にした考察  
日常生活との関連付け

質的な「見方」  
知識の関連付け



学習方法の在り方

言葉のとおりです  
石灰水でも  
マンテの人でも  
変化はありませんでした  
水を通した  
気体が集まりました

水実が重たそう  
に重いもよく  
石灰水も濁らぬかっ  
たらです

確かな根拠を基に結論を出す

自己の課題を明らかにする

火を使う実験をしなかった...

生徒自身による実験の企画

→

実験企画とその検証

→

科学的に探究する  
資質・能力

27/28

まとめ

知識の理解の質を高めるために 「見方・考え方」

学習内容の質

- 知識を文脈や状況とともに扱う。
- 知識を相互に関連付ける。

学習方法の質

- 「主体的・対話的で深い学び」を実現する。
  - ・ 学びや変容の自覚
  - ・ 考えなどの広がり, 深まり
  - ・ 「見方・考え方」を働かせる学び